

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2015年 ニュース・イベント・ピックアップ (それぞれをクリックして詳細へ)

- 1月15日 **RTView 新バージョン 6.5 で、HTML5 化の範囲をさらに拡げて性能向上:**
V6.4におけるトレンドグラフでのピュアHTML5化に続き、ディスプレイ・サーバによるシンクライアント運用でピュアHTML5のオブジェクト多数を追加適用した他、グラフ・オブジェクトの機能拡張で可視化を強化 [右画面]
- 2月20日 **Application Performance 2014 セッション内容の拡大版セミナー開催:**
「サイロ化されたアプリケーション・インフラ監視からの打開事例とデモ
～異種性能データに接続し、サービスやオペレーションに応じてカスタム構築～」
@TEPIA(青山)
- 5月27日 **新「SL-GMS ドキュメンテーション・サイト」オープン:**
全 SL-GMS 製品のドキュメンテーション(リリース・ノート、ユーザ・ガイド、リファレンスなど)を閲覧できる他、各種チュートリアルとサンプル・プログラムをダウンロードできます。また、さまざまな構築技法と機能活用でご参考にしていただける豊富な技術資料も掲載しています。(保守ご契約中ユーザ様にログイン/パスワードをご案内。)
- 6月5日 **デモと事例による具体的な解説で好評の SL-GMS セミナー開催:**
「SL-GMS による比類なく Web 運用に強い監視制御システムとその専用カスタム・エディタの構築技法」@TEPIA(青山) [右上写真]
- 6月10日 **日立ソリューションズがクボタシステム開発と共同開発したグローバル生産状況の一元管理システムで、米 SL 社の RTView を採用:**
株式会社クボタ向けに、既存の製造情報データベースに RTView を接続したリアルタイムな可視化と監視ダッシュボードをわずか数人月で開発し、「製造現場の見える化」を促進 [右画面]
- 6月24日 **64 bit 版 SL-GMS C++/Developer 新バージョン 6.6a で、Red Hat Enterprise Linux 7 を追加サポート:**
最も高度な制御システムのリアルタイム・データを動的に可視化できる、SL 社のロングセラー製品
- 7月15日 **カスタム構築するサービスやオペレーションの性能監視で、新しい Google マップ機能を発表:**
RTView 新バージョン 6.6 リリースで、Google マップ・オブジェクトの追加をはじめとするグラフィカル機能拡張 [右画面]
- 9月8日 **SL ジャパンの代表取締役社長である羽島良重が、御茶ノ水ソラシティで開催された Application Performance 2015 で講演 [右下写真]:**
「IoT で氾濫するアラートを一元管理 ～ Google マップなどを活用し、サービスやオペレーションに応じてカスタム構築する性能監視～」
- 9月10日 **SL-GMS Developer for .NET, Custom Editor for .NET で、Windows 10 ならびに Visual Studio 2015 をサポート追加:**
最新の監視制御システムの開発と提供で、SL-GMS を組み込み再販しているユーザを先んじて支援継続 [右下画面]
- 10月30日 **SL-GMS C++/Developer 最新バージョン 6.6b で、Windows 10 ならびに Visual Studio 2015 をサポート:**
世界の高度監視制御システムを支え続ける SL-GMS (裏面記事)
- 12月3日 **Windows 10 をサポート追加した Java ベースの SL-GMS J/Developer と J/Net の新バージョン 4.4a をリリース:**
Java による比類なく Web 運用に強い監視制御システムの開発を引き続き支援
- 12月25日 **SL ジャパンは 2015 年度 (12 月決算) の利益の一部から、日本赤十字社に 500,000 円を寄付しました。**



RTView ディスプレイ・サーバによって iPhone で運用される高対話性の Web シンクライアント



SL-GMS 構築技法セミナー@TEPIA(青山)



(株)日立ソリューションズ様がクボタシステム開発(株)様と共同でご開発



RTView 新 V6.6 で追加された Google マップ・オブジェクト



Application Performance 2015



Visual Studio 2015 に表示される SL-GMS Developer for .NET コントロール

世界の高度監視制御システムを支え続ける SL-GMS

2015年10月30日(日本時間) プレス・リリースより:

リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視で業界をリードする株式会社 SL ジャパンは、Windows 10と Visual Studio 2015をサポート追加した、32 bit 版ならびに 64 bit 版の SL-GMS C++/Developer 製品および C++/Map, C++/Net, Custom Editor 拡張オプション製品の最新バージョン 6.6b をリリースしました。

SL-GMS C++/Developer は、SL 社におけるロングセラーのダイナミック GUI/HMI 開発ツールで、日本国内においても、1991 年以来、プロセス制御における主要 DCS/SCADA 製品への組み込みをはじめ、発電所、生産ライン制御、設備監視、通信ネットワーク監視、道路・鉄道、航空宇宙システムなどにおける、数百におよぶプロジェクトの数々で採用されてきました。

1980～1990 年代に開発されたシステムが今もなお稼働、組み込み再販されている一方で、SL-GMS C++/Developer は毎年新しいプロジェクトで採用され続けています。この30年間、監視制御システムの世界が、VMS から UNIX, Windows, Linux へと移り変わって来た中で、真のオブジェクト指向アーキテクチャを持った SL-GMS は、新機能拡張、新しい OS、プラットフォームやフレームワークへの対応において、絶対的な優位性を誇示し、今日のミッション・クリティカルなシステム要件を満たすべく進化を続けています。

★本プレス・リリース全文: http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2015/sl_j_press_151030.shtml



SL-GMSDraw エディタで動的の属性を持ったグラフィカル・モデルを対話的に開発 (Windows 10)

RTView のディスプレイ・サーバ機能で、iPad や iPhone を使って監視

RTView のビルダーで対話的にカスタム定義したデータの集約や表示、キャッシュやクエリ、アラートとルールなどの「構成ファイル」は、変更することなくデスクトップまたはブラウザで透過的に運用できるようになっており、RTView の「ディスプレイ・サーバ」機能を使えば、世界中に分散したブラウザ・クライアントに高速で高対話性の監視画面をシンクライアント (HTML, Ajax) で配信できます。

RTView の「ディスプレイ・サーバ」は、本来ブラウザ・クライアント側で描画する画面を、サーバ側でイメージ (JPEG または PNG) として生成して表示クライアントに供給するものですが、単なるイメージ配信ではなく、SL 社の技術によって、デスクトップ・アプリケーションと同様の高対話性を提供しているものです。従って、JPEG または PNG 表示をサポートする Web ブラウザさえあれば、iPad や iPhone などのデバイスでも表示・操作することができます。



iPad で稼働する、高対話性の RTView シンクライアント

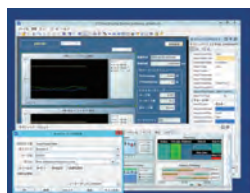
★「iPhone で稼働する RTView シンクライアント (DCIM - データセンター・インフラ管理)」デモビデオ (1分21秒): http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/DCIM_with_MapObject/DCIM_with_MapObject.html

★「RTView のディスプレイ・サーバ (シンクライアント) 機能を使い、iPad でアプリケーション・サーバを監視」デモビデオ (1分37秒): http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/RTView_iPad_AppServ/RTView_iPad_AppServ.html
米 SL 本社に設置された RTView ディスプレイ・サーバにアクセスし、クラウドで稼働するアプリケーション・サーバを監視しています。

Application Performance 2015 拡大版セミナー開催のご案内



拡大版セミナー「IoTで氾濫するアラートを一元管理～Google マップなどを活用し、サービスやオペレーションに応じてカスタム構築する性能監視」



RTView のポイント＆クリック操作のビルダー

★2016年2月26日(金) 15:00～17:00 [無料・事前登録制]
@TEPIA (東京・青山・外苑前駅から徒歩4分)

セミナーサイト: http://www.sl-j.co.jp/newsevents/AP2015_session.shtml
(トップページからも入れます。)

昨秋9月8日に御茶ノ水 ソラシティ カンファレンスセンターで開催された **Application Performance 2015** セッション内容の『拡大版セミナー』です。

★セミナーのお申し込みは、電子メール seminar@sl-j.co.jp またはセミナー・サイトから承っております。



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

Real-Time Visibility

年3回発行 2016年1月15日発行 通巻53号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。